

男性は「シジュウになったら、自分の顔に責任を持て」と言われ続けてきました。今は実年齢から10歳マイナスしたのが精神年齢だといわれる時代。「ゴジウウの顔に責任を」ということになるのでしょうか。アラフォーが脚光を浴びる昨今ですが、50代のシャネルは人生のうちで、もっとも美しかったといわれています。50代半ばの頃も、30歳にしか見えなかったといわれています。

沈黙のベールを破って70代で再デビューしたときは、もちろん年相応の自然なシワはあったことでしょう。それでも、とにかく、70代には見えなかったようです。「仕事をしていないことで、ものすごく老け込んだ」とも漏らしていたようですが、「仕事をするようになったら、病気もすぐ治った」とも語っています。

その気持ちあつてこそ、いい顔が実現するのです。シャネル流に言うところ、退屈な日々が、人を老化させていくというわけです。とにかく「もう歳だから」を生きている間に口にしてはダメ。周囲に迎合せず、やりたいうことがあつたら100歳現役をめざすぐらいの意気込みが肝心ですね。